

# 所報

(2018.3.1 ~ 3.31)

## □研究員人事（3月31日付）

退職 兼任研究員

金子 良事 兼子 諭

高瀬 久直 橋本美由紀

米山 忠寛

研究補助員（RA）

川田 恭子 藤田 理雄

松下 優一

## □刊行物

法政大学大原社会問題研究所／榎一江編『戦時期の労働と生活』法政大学出版局

『法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ・ニュースレター』第3号（2018年3月）

『大原社会問題研究所雑誌』714号（2018年4月）

## □図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	327	18	345
受 贈	0	0	0
合 計	327	18	345

## □閲覧サービス

### 閲覧

開館日数 21日

閲覧者数 19名

貸出図書 1冊

### コピーサービス

学外 11件 1,057枚

学内 2件 55枚

## 日誌

7日 拡大事務会議・事務会議

『日本労働年鑑』編集会議

13日 『日本労働年鑑』編集会議

二村一夫氏宅寄贈資料引き取り（出張：榎、金子）

二村旧蔵資料受贈（寄贈者：二村一夫氏、アルバム類1箱、産別会議関係資料7箱、大島清先生関係資料2箱）

14日 運営委員会

議題①自己点検・評価シート年度末報告について

て

②兼任研究員の承認

③嘱託研究員の新規・追加承認

④その他

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

研究員会議

月例研究会

Park, Chris Hyunkyu (School of Culture, History, and Language, Australian National University) "Democracy is Not Enough : Political Imaginations of the Diasporic Korean Radicals in the Post Colonial Period"

15日 大原記念労働科学研究所公開研究会

（参加：鈴木、藤原）

20日 『日本労働年鑑』編集会議

法政大学ミュージアム開設準備委員会（榎）

22日 大原社会政策研究会（第44回）

御澤晴人（法政大学大学院人間社会研究科博士後期課程）「1990年代における国民年金保険料納付率低下の要因と背景」

大原社会問題研究所雑誌  
No.717 (2018年7月号)  
2018年7月1日発行  
定価1,000円(本体926円), 年間購読料12,000円  
編集(兼) 発行人 法政大学大原社会問題研究所  
編集長 藤原千沙  
所長 鈴木玲  
〒194-0298 東京都町田市相原町4342  
電話042(783)2305

# 投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会・労働問題に関する「論文」「資料紹介」「調査報告」を募集しております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。[2017.12.20 改定]

## 投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則として20,000字以内（図表・スペースを含む）とします。大幅に分量を超える原稿は審査の対象としません。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしてください。1ページ目は、原稿の題目に続けて本文に入り、著者名は記載しないでください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌2冊と抜刷30部をさしあげます。
6. 投稿者は、①投稿原稿（審査用原稿）3部、②1,000字程度の要旨3部、③表題紙3部を送付してください。表題紙に記載する事項は、投稿原稿の①題名、②目次、③分量（図表を除く文字カウント数（スペースを含める）、図表の数）、④著者の氏名（よみがなを併記）、⑤肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑥略歴、⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

【送付先】〒194-0298 東京都町田市相原町4342 法政大学大原社会問題研究所  
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

## 投稿原稿 執筆要領

1. A4版の横書き、40字×40行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「,」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない1 2 …を用いる。
4. ワープロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、可能なかぎり、掲載を希望する大きさで、そのまま白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表1を入れる】等と指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

### 【記載例】

榎一江 (2017) 「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705号、29-43頁。

原伸子 (2015) 「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira (2016) "Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews," *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.



有斐閣 出版案内

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 Tel:03-3265-6811  
http://www.yuhikaku.co.jp/ (表示価格は税別。消費税込みの金額が定価です。)

◎図書目録送呈◎

## ジエンダーの政治経済学

原伸子著 ○ 福祉国家・市場・家族  
ベッカー「新家庭経済学」における女性  
労働の分析とその後のフェミニスト経済  
学の発展を丹念に追い、さらに社会的ケ  
ンダーカーの理論的分析、福祉国家におけるワ  
ーク・ライフ・バランスや家族政策等ジエ  
ンダー政策の精査を行う。

A5判 三九〇〇円



## 経済史

小野塚知一著 ○ いまを知り、未来を生きるために、経済はなぜ成長するのかといった問いを人口に、経済が今後も成長し続けること、また成長のない資本主義は可能か、といった出口の問い合わせに向けて歴史を俯瞰する。

四〇〇〇円 四六判

(同志社大学経済学研究叢書)

三五〇〇円

## 近代日本の庶民史

西村卓著 ○ ふつうの人びとの暮らしと人生を紡ぐ  
菅沼隆・土田武史・岩永理恵・田中聰一郎編 ○ 厚生官僚120時間オーバルヒストリー  
ラルヒストリー 社会保障制度の成立と展開に関する重要なトピックについて、厚生省の官僚にインタビューを行い、その証言を収録・解説。農村史を熱く語り合わせて、ユニークな庶民史を紡ぎだすことを試みた。

A5判 五六〇〇円

## 戦後社会保障の証言

西村幸夫著 ○ 47都心空間の近代をあるく  
なかのなか? 学界を代表する都市工学者が津々浦々を訪ねてまわり、都道府県の都心部の成り立ちを論じる「教養のまちあるき」。

B5判 三六〇〇円

## 県都物語

山田篤裕・駒村康平・四方理人・田中聰一郎・丸山桂著 ○ 生活保護制度の課題と将来構想 生活保護制度を中心とする日本の最低生活保障度の現状と政策変更の影響を、独自の調査を含む大規模データに基づき分析。

A5判 予価三二〇〇円

## 最低生活保障の実証分析

21世紀の若者たちへ  
「知力革命」の時代

福島大学国際災害復興学研究チーム編著

## 東日本大震災からの復旧・復興と国際比較

五十嵐風仁著

一八〇〇円

## テキスト災害復興支援学

川崎興太編著

一〇〇〇円

環境復興 東日本大震災・福島原発事故の被災地から  
山川充夫／瀬戸真之編著・執筆者大平佳男他  
福島復興学 被災地再生と被災者生活再建に向けて

二五〇〇円  
三五〇〇円

第26回(2018年)法政大学経済学部同窓会  
森嘉兵衛賞受賞



大平佳男著

A5判 上製 178頁 本体3000円  
ISBN 978-4-86014-079-3

再エネの普及について政策の面から検討を行い  
地域経済の活性化に貢献できる、再エネ事業のあり方を検討する

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-19 銀鈴会館内  
TEL 03-3235-1553 FAX 03-3235-5910  
Eメール hassaku-sha@nifty.com

八朔社

表示価格は消費税が含まれておりません

刊行書の一覧は版元ドットコムへ

<https://www.hanmoto.com/bd/hassaku-sha>